



口之津小学校 学校だより

希望の丘から

希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。

令和4年6月17日

第5号

校長 本村 英治

学校だより「希望の丘から」は、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」から表題にしました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。

運動会でつけた力を学習や生活へ

「進んであいさつ」「進んで学ぶ」「生活リズム」

運動会では、全員が心一つにしてがんばり、子どもたちも様々な面での成長を見せてくれました。6月以降は、その意欲や力を他にも広げていこうと、がんばっているところです。改めて、1学期に重点的に取り組む内容と現状をお伝えします。

① 進んであいさつ

学校内では、朝のあいさつ運動や来校者に対してのあいさつが、気持ちよくできています。登下校時の声の大きさや自分から進んで、心を込めてできるようになると「本物」に近づきます。児童会でも自主的に取組を考えているようです。

② 進んで学ぶ

運動会に向けて「進んで取り組もう」とした姿勢は評価できました。1学期後半は、それを授業などの学習活動で発揮させていきます。授業の楽しさを感じ、進んで取り組ませて、学力向上を図ります。また、家庭学習についても習慣化と内容の向上を進めていきますので、ご協力をお願いします。

③ 生活リズム

望ましい生活習慣は、PTA主催のパワーアップ週間でもご協力をいただき、少しずつ安定していますが、まだ指導すべき点もあります。望ましい生活リズムは、心の教育・学力向上・健康維持などの基盤であることは、前回もお伝えしたとおりです。年間を通して、安定した生活習慣の定着を目指します。

4年生 平和学習（長崎市）

6月9日（木）に4年生が、長崎市への平和学習を実施しました。コロナ禍で実施を見合わせて来ましたが、3年ぶりの実施となりました。

今回訪問したのは、長崎県庁、平和公園、長崎原爆資料館の3か所です。実際の体験や実物を見ることの驚きや感動、学びが得られ、貴重な機会とすることができました。また、4年生の進んで学ぶ態度や校外でのマナー、安全に気をつけた行動もすばらしかったです。

これまで体験を伴う活動が制限されていた状況でしたが、感染症対策を講じることができる限り実施する方向で、子どもたちの豊かな学びを保障していきます。





白浜海岸清掃

6月16日(木) ふるさとの海(白浜海岸)の清掃奉仕活動を本校5・6年生、口之津中全校生徒、口之津海上技術学校生、口之津船員会の皆さんと合同で行いました。

きれいな浜ですが、魚網や流木、プラスチックごみなどが打ち上げられていて、約240人で作業に取りかかりました。中学生と一緒に活動したり、海上技術学校生に助けてもらったりして、約1時間の清掃ですっきりきれいになりました。

子どもたちにとって、環境への意識向上やふるさと教育のよい機会となりました。何よりも口中生や海技校生、地域の方と交流し、その姿を学んだことが大きい活動であったと思います。

主な行事予定(6月~7月)

6月 16日 白浜海岸清掃(5・6年生)
21日 水泳学習開始
27日 口之津っ子の心を見つめる教育週間(7月3日まで)

28日 授業参観・学級部会(1・3・5年)

30日 授業参観・学級部会(2・4・6年)

7月

11日 学期末短縮日課(15日まで)

20日 第1学期終業式

22、25~27日 保護者面談

あいさつという「生きる力」

冒頭にも書きましたが、1学期の重点には「進んであいさつ」を挙げています。このことは、これまでも口之津っ子に育てられてきた重要な能力であり、今後そのことは変わらず指導していきます。

ある経済団体の取りまとめによると、会社等の人事担当者が採用者に対して重視するポイントは、

①コミュニケーション能力、②主体性、③協調性、④チャレンジ精神、⑤協調性という結果でした。さらに、この中で最も重要であるのは、①コミュニケーション能力で、ここ10年以上1位だそうです。人は、社会的な生き物ですから、人と共生する資質・能力が重要視されて当然です。そして、コミュニケーションの第一歩は、あいさつであると考えます。

いろいろと述べましたが、「あいさつ」という能力は、「できればの方がよい」とか「できるにこしたことはない」というレベルのものではなく、子どもたちに身に付けさせるべき「生きる力」であると考えます。

このことは日常からあらゆる場面で育てていかなければならないものです。家庭でも地域でも、当たり前に関わされる気持ちよいあいさつの環境が、子どもたちの「生きる力」を育てていきます。

